

歴史総合、日本史探究

【I】 「歴史総合」の授業で、千野さんと土井さんは「戦後の日本の歩み」というテーマを探究し、調べた内容を以下のようなノートにまとめた。これに関し、設問に答えなさい。

〔戦後の日本の歩み〕

1. 国際関係

(1) 占領と冷戦構造の影響 (1945～)

- ・敗戦後、日本はGHQによる占領下に入る
- ・当初は「非軍事化・民主化」が目的 → 冷戦の激化で日本は「反共の砦」へ

(2) 国際社会への復帰 (1950～)

- ・サンフランシスコ平和条約 (1951) → 日本の主権回復
①
- ・日米安全保障条約 (1951) → 米軍駐留継続
→ 冷戦下でアメリカ陣営に位置づけられる
- ・ X (1956) → 日本の国連加盟

2. 国内政治

(1) 戦後民主主義の出発 (1945～1950)

- ・ 治安維持法廃止・選挙制度改革・教育改革・財閥解体など民主化政策が進む
②

(2) 55年体制の成立 (1955)

- ③
- ・鳩山一郎内閣の憲法改正・再軍備 → 社会党が再統一して反対
- ・自由党と日本民主党が合併 → 自由民主党 (自民党)誕生
→ 自民党 (保守)vs 社会党 (革新)の二大勢力構図
- ・冷戦構造を背景に、保守：日米同盟・成長重視 革新：平和・社会保障重視

(3) 安保改定と政治の転機

- ・ Y 内閣で新安保条約が成立 (1960) → 安保闘争

3. 経済・社会・文化

(1) 経済復興と成長

- ・ 戦後のインフレ → 緊縮財政と単一為替レートで安定
- ・ 朝鮮戦争勃発 (1950) → 朝鮮戦争特需で急速な景気回復 (特需景気)
- ・ 重化学工業を中心に成長 (1955～)
- ・ 池田内閣「所得倍増計画」 → 高度経済成長への幕開け

(2) 社会の変化

- ・ 都市化・サラリーマン層の増加
- ・ 教育水準の向上, テレビの普及, 生活文化の多様化
- ・ 東京オリンピック (1964) に向けて「戦後からの復興」へ

(3) 国家観や社会理念の変化

- ・ 「戦争をしない国」「経済で世界に貢献する国」という新しい国家像
- ・ 民主主義と平和主義を社会で共有

設 問

1. ノート中の空欄 には後の記述 a か b, 空欄 には c か d のいずれかが当てはまる. 空欄 ・ に当てはまるものの組み合わせとして適切なものを選択肢から 1 つ選び, その記号をマークしなさい.

Xに当てはまる語句

- a. 日ソ共同宣言
- b. 日韓基本条約

Yに当てはまる語句

- c. 岸 信介
- d. 佐藤栄作

ア. X-a, Y-c イ. X-a, Y-d ウ. X-b, Y-c エ. X-b, Y-d

2. 下線部①に関して、千野さんと土井さんは、サンフランシスコ平和条約を調べて、以下の資料を見つけた。資料中の空欄 X Y Z に当てはまる地域の組み合わせとして適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 2

サンフランシスコ平和条約第2条(抜粋)

- (a)日本国は、 X の独立を承認して、濟州島、巨文島及び鬱陵島を含む朝鮮に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。
- (b)日本国は、 Y 及び澎湖諸島に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。
- (c)日本国は、 Z 並びに日本国が千九百五年九月五日のポーツマス条約の結果として主権を獲得した樺太の一部及びこれに近接する諸島に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。

(以下略)

- | | | |
|---------|--------|--------|
| ア. X 台湾 | Y 千島列島 | Z 朝鮮 |
| イ. X 朝鮮 | Y 満州 | Z 千島列島 |
| ウ. X 満州 | Y 千島列島 | Z 朝鮮 |
| エ. X 朝鮮 | Y 台湾 | Z 千島列島 |

3. 下線部②に関して、千野さんと土井さんは、「戦後の民主化政策」に関心をもって、教育改革でどんな出来事があったのかについて調べた。「教育改革」の説明として適切でないものはどれか。選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 3

ア. 1946年にジョージ＝ストダードを団長としてアメリカから教育使節団が派遣された。この使節団の勧告をもとに日本の教育改革が進められた。

イ. 戦前からあった教育委員会やPTA(父母と先生の会)は、民主的であると判断され、戦後も継続された。

ウ. 1947年に制定された教育基本法には、教育の目的として平和的な国家および社会の形成者になるよう自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成がうたわれた。

エ. 戦前の義務教育は、国民学校の期間を除き小学校の3～6年間だけであったが、戦後の義務教育は中学校も加えられて、小学校と中学校の9年間となった。

4. 下線部③に関して、千野さんと土井さんは、「55年体制」に関心をもって、当時の国内政治と国際情勢の関係について調べた。「55年体制」の説明として適切なものはどれか。選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 4

ア. 1955年に、日本社会党と日本共産党が合同して成立し、保守勢力を抑えて社会主義政権を実現したことで、国際社会で日本は非同盟中立路線に転換した。

イ. 1950年代半ば、日本社会党を含む八党連立内閣が発足し、政治改革や選挙制度見直しを掲げたが、各党の主張が対立して短時間で崩壊し、再び保守政権が復活した。

ウ. 「55年体制」のもとでは、自民党が与党として経済成長と日米安保を基軸に政権を運営し、社会党は護憲・中立政策を掲げて対立した。冷戦構造の中で政権交代は起こらず、政治の安定が保たれた。

エ. 「55年体制」のもとでの日本外交は、アジア諸国との協調を拒み、戦後補償問題を解決しないまま孤立を続けたため、国際社会への信頼は回復しなかった。

5. 千野さんと土井さんは、戦後の日本経済について先生と話している。以下の会話文の空欄 X Y に当てはまるものの組み合わせとして適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 5

千野さん:先生、戦後の日本って、本当に何もかも壊れていたんですよね？教科書に「焼け野原」ってありますが、そこからどうやって立ち直れたのですか？いまいち想像できません。

先生:はい、実際に見た人たちは「灰の中から始めた」と言うくらい、すべてが失われていました。でも、そこにあったのは絶望だけではなく、「もう一度やり直そう」という強い気持ちでした。まずGHQが占領政策を始め、日本社会のしくみを根本から見直したんです。政治の民主化と同じように、経済も

「民主化」されました。財閥を解体し、農地改革で小作農に土地を与え、労働者にも団結の権利を保障した。つまり、支配する側とされる側の関係を変えて、経済の土台をつくり直したんですね。

土井さん:なるほど。しくみを変えたんですね。でも、しくみを変えただけでお金が回るようになりますか？お金も物が足りないままで、暮らしは厳しかったんじゃないですか？

先 生:その通りです。物価が暴騰して、みんな困っていました。そこで1949年に X という緊縮政策を導入します。要するに、無駄なお金を使わず、経済を落ち着かせようという方針です。それで、確かにインフレは収まりましたが、企業倒産や失業が増えました。

千野さん:それでは元気になれないですよ。経済が実際に動き出したきっかけって何かあったんですか？

先 生:すごくいいところに気づきましたね。1950年に朝鮮戦争が起きて、アメリカ軍が日本に軍需品を発注したんです。これは「朝鮮特需」と呼ばれます。トラック、鉄鋼、繊維、通信機など、あらゆる産業が再び動き出しました。これで企業の設備投資が進み、失業が減り、生活にも活気が戻っていきました。ここで得た経験と技術が、のちの日本の輸出産業の基礎になります。つまり、戦争を直接しなかった日本が、間接的に経済復興のチャンスをつかんだんですね。

土井さん:なるほど。じゃあ、その後の1950年代にはもう景気が安定してきたんですか？

先 生:1955年ごろになると「Y」というスローガンが語られるようになります。特需の勢いは落ち着きましたが、日本の企業が自立して成長できるようになりました。技術力を磨き、輸出を伸ばし、家電や自動車などの新しい産業が育っていきます。社会の空気も少しずつ明るくなり、「生活を立て直す」から「よりよく暮らす」へと、人々の目標が変わっていきました。

千野さん:それが「所得倍増計画」を掲げた池田勇人内閣につながるんですね。

- | | |
|----------------|------------------|
| ア. X：ニューディール政策 | Y：国民生活は量から質へ |
| イ. X：高橋財政 | Y：変革の時代をどう生きるか |
| ウ. X：シャウプ勧告 | Y：ジャパン・アズ・ナンバーワン |
| エ. X：ドッジ＝ライン | Y：もはや戦後ではない |

【Ⅱ】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

近世の日本は、徳川家康が征夷大將軍に就任し、江戸に幕府を開いたことに始まる。家康は將軍職を子息である徳川秀忠に譲ることで徳川氏の世襲を確立し、大御所として実権を握り続けて豊臣氏を大坂の陣で滅ぼした。

幕府は、將軍と大名がそれぞれ土地と人民を統治する幕藩体制を確立した。大名統制の基本法として [6] が制定され、3代將軍家光時代の寛永令では、大名に参勤交代を義務付け、幕府への忠誠を担保した。幕府の財政基盤は、^② 広大な直轄領からの年貢収入や主要鉱山からの金銀、主要都市の直轄、貨幣鑄造権によって支えられた。軍事力は將軍直属の旗本・御家人と諸大名の軍役で維持された。藩では、家臣を城下町に集住させ蔵米を支給する [7] が一般化した。

朝廷に対しては、幕府は1615年に禁中並公家諸法度を制定し、紫衣事件をきっかけに朝廷への統制をより強化した。^③ キリスト教に対しては、幕府は初めはこれを黙認していたが、キリスト教の布教がスペイン・ポルトガルの侵略につながることを警戒して1612年に禁教令を出した。^④

これらの統制と並行し、対外関係も厳しく管理された。1616年には中国船を除く外国船の寄港地が制限され、1624年にはスペイン船の来航が禁止された。1635年には日本人の海外渡航と在外日本人の帰国が全面禁止され、1639年にはポルトガル船の来航が禁じられた。そして1641年にはオランダ商館を長崎の [8] に移転させ、鎖国体制が完成した。幕府はオランダ商館長が提出するオランダ [9] を通じて海外情報を入手しつつ、貿易を独占した。朝鮮との交流では朝鮮通信使が来日し、鎖国下においても、日本は限定的な対外交流を維持した。^⑤

また、薩摩藩支配下の琉球王国は清との朝貢貿易と幕府への使節派遣を並行して行った。蝦夷地では [10] がアイヌとの交易を独占した。これらの政策により、幕府は260年にわたる国内の安定と対外統制を実現したのである。

設 問

1. 文中の ～ に当てはまる語句として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 公事方御定書 イ. 武家諸法度 ウ. 建武式目 エ. 御成敗式目

ア. 俸禄制度 イ. 地方知行制 ウ. 貫高制 エ. 俸給制

ア. 出島 イ. 平戸 ウ. 丸山 エ. 鳴滝

ア. 紅毛人聞書 イ. 風説書 ウ. 勘合帳 エ. 郷村高辻帳

ア. 宗氏 イ. 大崎氏 ウ. 松前氏 エ. 安東氏

2. 下線部①の徳川家康に関する説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 家康は室町幕府の後継者として、朝廷の許可を得て足利義昭から征夷大將軍の地位を譲り受けた。

イ. 織田信長の死後、1590年に家康が天下統一を果たしたことで朝廷から関白の地位を与えられた。

ウ. 1600年の関ヶ原の戦いでの勝利の後、家康は豊臣氏を滅ぼすために征夷大將軍を自称し、幕府を開いた。

エ. 関ヶ原の戦いを制した家康は、全国の大名に対する指揮権の正統性を得るために、朝廷から征夷大將軍の宣下を受けた。

3. 下線部②の参勤交代に関する説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 12

ア. 特定の大名に対して、領地を与える代わりに、将軍の命令があった際には江戸に参勤することを義務付けた制度である。

イ. 全国の大名に領地の検地を義務付け、その報告のために毎年京都に集まることを命じた制度である。

ウ. 大名の軍事力を削減するため、大名とその妻子および家臣が1年おきに江戸に滞在することを命じた制度である。

エ. 大名の妻子には江戸に住むことを強制し、大名には国元と江戸とを1年交代で往復させ、これによって大名の経済的・軍事的負担を増大させた制度である。

4. 下線部③に関連して、朝廷を統制するために朝廷に幕府からの指示を伝える公家の役職として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 13

ア. 武家伝奏

イ. 京都所司代

ウ. 関白

エ. 側用人

5. 下線部④の禁教令に関する説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 14

ア. 宣教師の国外退去を命じた後、仏教以外の全ての宗教の信仰を禁じるために出した法令である。

イ. 幕府が直轄領にキリスト教の信仰を禁じ、発布の翌年にこれを全国に拡大して信者に改宗を強制した法令である。

ウ. キリスト教徒の反乱を抑えるために、寺院が檀家であることを証明する寺請制度を定めた法令である。

エ. ポルトガル船の来航を全面的に禁止し、キリスト教との接触を断つことを目的とした対外政策の総称である。

6. 下線部⑤の朝鮮通信使に関する説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 15

ア. 江戸幕府が外交関係を強化するため、毎年朝鮮半島に派遣した公式使節団である。

イ. 朝鮮国王が琉球王国との朝貢貿易を円滑にするために、江戸幕府に送った貿易使節である。

ウ. 対馬の宗氏を介した日本と朝鮮との交流において、新将軍就任の慶賀などを目的として来日した使節である。

エ. 朝鮮国王が国王の代替わりごとにその就任を感謝するために幕府に派遣した使節である。

【Ⅲ】 「平安時代から戦国時代にかけての日本の文化」に関する以下の設問に答えなさい。

設 問

1. 平安時代後期に成立した、日本・震旦(中国)・天竺(インド)の説話を集めた説話集として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 16

ア. 『大鏡』 イ. 『雨月物語』 ウ. 『将門記』 エ. 『今昔物語集』

2. 平安時代後期、奥州の豪族藤原清衡が平泉に建立した阿弥陀堂として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 17

ア. 輪王寺三仏堂 イ. 平等院鳳凰堂 ウ. 中尊寺金色堂 エ. 富貴寺大堂

3. 鎌倉時代初期に鴨長明が著した随筆作品として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 18

ア. 『愚管抄』 イ. 『徒然草』 ウ. 『方丈記』 エ. 『無名抄』

4. 鎌倉時代初期に後鳥羽上皇の命を受けた藤原定家・家隆らが編者となった和歌集として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 19

ア. 『新古今和歌集』 イ. 『金葉和歌集』 ウ. 『山家集』 エ. 『拾遺和歌集』

5. 鎌倉時代に開かれた仏教のうち、一遍の開いた時宗の説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 20

ア. もっぱら阿弥陀仏の誓いを信じ、念仏をとなえれば死後は平等に極楽浄土に往生できるという専修念仏の教えを説いて、公家をはじめとして武士や庶民にまで広まった。

イ. 平生を臨終のときと心得て念仏を唱えることを宗意とし、踊念仏を通じて各地で教えが広まった。

ウ. 煩悩の深い人間（悪人）こそが阿弥陀仏の救いの対象であるという悪人正機を説いて、その教えは農民や地方武士のあいだに広まった。

エ. 法華経を釈迦の正しい教えとして選び、題目をとなえることで救われると説いて、他宗を激しく攻撃しながら国難の到来を予言するなどして布教を進めた。

6. 鎌倉時代に成立した史書『吾妻鏡』の説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 21

ア. 源頼政の挙兵から宗尊親王の帰京までの幕府の歴史を編年体で記した史書である。

イ. 冷泉天皇から亀山天皇までを記した編年体の史書で、公家社会の動静を中心に記したものである。

ウ. 源為朝の活躍を中心に保元の乱を描いた史書である。

エ. 平家の興亡を主題とした史書で、琵琶法師によって平曲として語られた。

7. 室町時代に明で作画技術を学び、帰国後に日本的な水墨画様式を確立して「四季山水図巻」や「秋冬山水図」等の作品を残した人物として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 22

ア. 善阿弥 イ. 雪舟 ウ. 土佐光信 エ. 狩野元信

8. 室町時代に成立した、南北朝期の動乱を後醍醐天皇の討幕計画から40巻に渡って記した軍記物語として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 23

ア. 『太平記』 イ. 『神皇正統記』 ウ. 『梅松論』 エ. 『曾我物語』

9. 室町時代に、父である観阿弥の教えをもとに世阿弥が記した能楽の理論書の名称として適切なものを選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 24

ア. 『閑吟集』 イ. 『梁塵秘抄』 ウ. 『おくのほそ道』 エ. 『風姿花伝』

10. 室町時代に広まった連歌の中でも、特に和歌の伝統を活かした「正風連歌」を確立し、弟子らとともに『水無瀬三吟百韻』を詠んだ人物の名前として適切なものを選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 25

ア. 池坊専慶 イ. 千利休 ウ. 宗祇 エ. 村田珠光

(問題終わり)